



欧州は米国と日本の成功から学ぶことができるか？

SBDの最新レポート **Benchmarking telematics in Europe against global trends**では、欧州の自動車メーカーが米国、日本、韓国におけるテレマティクスの展開事例から学ぶことができる主な教訓について貴重な情報を提供しています。

このレポートでは、各地域における市場状況、重要成功要因、政府の関与を評価し、テレマティクスが欧州市場で成功に向けて大きな一歩を踏み出せるよう一連の提言を行っています。

このレポートは以下のメリットを提供します

- 米国市場では堅調な伸びを記録しているにも関わらず、なぜ欧州ではテレマティクスの成長が遅れているのかを理解することができる
- 他の地域のベストプラクティスを土台とすることで、欧州におけるテレマティクス戦略を最適化することができる
- より柔軟性の高いシステムデザインを用いてコストダウンを図り、それに伴い低料金化を実現する機会を見出すことができる
- 成功戦略を練る上でのエンドユーザーのニーズとサービスの選択の重要な関連性を認識することができる



お問い合わせは、近藤真子
mkondo@sbdjapan.co.jp
までご連絡ください。

電話でのお問い合わせは 052 253 6203
にて承っております。

本書 **Benchmarking telematics in Europe against global trends** は、欧州で組み込み型OEテレマティクスサービスを開発する機会と戦略を探っている企業や団体にとって貴重な情報をご提供しています。自動車メーカーやサービスプロバイダー、政府系機関、研究機関、通信事業者、コンサルタントにとって必読の内容となっています。

Benchmarking telematics in Europe against global trends (欧州のテレマティクスを世界的傾向と比較する)

...know what tomorrow brings

欧州のテレマティクスを支援する

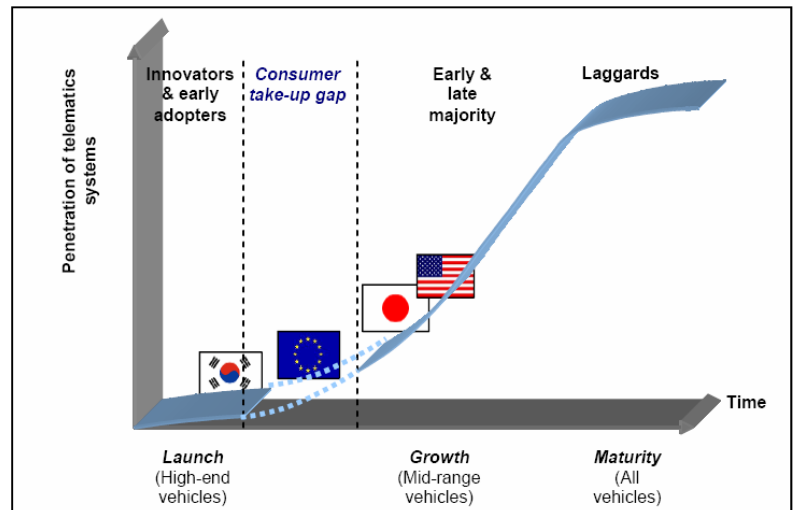
欧州は、テレマティクスの売れ行きで米国や日本などに後れを取っています。これら3つの地域は、1990年代半ばから後半にかけてほぼ同時期に最初のサービスを開始したにも関わらず、欧州の自動車メーカーはテレマティクスの年間装着率を1%に上げるのに依然苦勞しています。一方、米国における装着率は15%を超えており、日本では10%に接近しています。

教訓を学ぶ

SBDの最新レポート **Benchmarking telematics in Europe against global trends** では、他の市場の主な成功要因を取り上げ、欧州がそれらを参考にできるかどうかを検討しています。このレポートでは、**エンドユーザーの異なるニーズ、特定のサービスの相対的な重要性、料金モデルの違い、システムデザインの違い**などに焦点を当てて分析を行なっています。

前へ進む

このレポートの終わりには、世界中のベストプラクティスを土台とすることで、欧州の自動車メーカーが次世代テレマティクスサービスの消費者に対する魅力をいかに最大限高められるかについて、技術及び商業の観点から一連の提言を行なっています。



このレポートでは以下の質問にお答え致します：

- 米国と同様に、欧州でも安全及び防犯面での不安がテレマティクスの成長を後押しできるか？
- 日本のユーザーにとってそうであったように、通信型ナビゲーションサービスがもたらすメリットが欧州の消費者にとっても魅力となるだろうか？
- 政府はテレマティクス市場の発展にプラスの影響を与えることができるか？
- 欧州の自動車メーカーは、米国や日本におけるBluetoothベースのテレマティクスの使用例から何が学べるか？
- 最も効果的な低コスト料金モデルはどれか？

Benchmarking telematics in Europe against global trends (欧州のテレマティクスを世界的傾向と比較する)

...know what tomorrow brings

目次

- 1. 要旨**
 - 1.1 はじめに
 - 1.2 結論
 - 1.2.1 米国では安全性が鍵
 - 1.2.2 日本では通信型カーナビが中心
- 2. グローバル市場の比較**
 - 2.1 はじめに
 - 2.2 これまでの成功事例
 - 2.3 市場状況
 - 2.4 展開における政府の関与
 - 2.4.1 米国
 - 2.4.2 日本
 - 2.4.3 欧州
 - 2.4.4 韓国
- 3. 地域毎のサービスの違い**
 - 3.1 概観
 - 3.2 交通情報
 - 3.2.1 配信
 - 3.2.2 携帯電話
 - 3.3 eCall
 - 3.4 遠隔故障診断
 - 3.5 通信型カーナビ
 - 3.6 盗難車両追跡
 - 3.7 エンターテインメント
- 4. システムハードウェア及び料金設定**
 - 4.1 システムハードウェア
 - 4.1.1 内蔵型通信機能
 - 4.1.2 携帯電話
 - 4.1.3 データカード
 - 4.2 料金戦略

図一覧

- 図1 地域別にみたテレマティクス市場の成熟度
- 図2 BMW Assistテレマティクスサービスのグローバルカバレッジ
- 図3 グローバルOEテレマティクス市場の地域別シェア（加入者数、百万人単位）
- 図4 OEテレマティクスサービスの加入率（自動車保有台数及び年間販売台数）
- 図5 地域別にみたOEテレマティクスサービスの現状
- 図6 テレマティクス業界への政府や産業界の関与
- 図7 地域別にみた消費者にとってのテレマティクスサービスの重要度
- 図8 日本で提供されているエンターテインメント系テレマティクスサービス
- 図9 地域別にみた主要ハードウェアソリューション
- 図10 エントリーレベルOEテレマティクスの標準的な料金

Benchmarking telematics in Europe against global trends (欧州のテレマティクスを世界的傾向と比較する)

...know what tomorrow brings

レポートの著者について



スティーブン・ロングデンは、ウェストミンスター大学の交通計画及びマネジメント研究科の修士課程を修了した後、『The Intelligent Highway』誌の編集者として活躍しました。SBDではカーテレマティクスとナビゲーション分野の調査研究や分析を担当しています。これまで様々なITSアプリケーションや、中国などの新興市場の調査を行ってきました。

ロングデンが最近執筆又は共同執筆したその他のレポート：

- *Navigating the route to success*
- *Bluetooth in the car*
- *Opening up the telematics and navigation markets for success in China*
- *Digital broadcasting trends*
- *HMI for ADAS ~ Managing the warnings*

注文書

Benchmarking Telematics in Europe against global trends(SBD/TEL/1860) の購入をご希望のお客様は、ご希望の**購入形態**をお選びいただき、必要事項をご記入の上この注文書を052 253 6204 までFAXにて送信ください。なお、レポートの内容につきましては、近藤真子まで Eメール (mkondo@sbdjapan.co.jp) または お電話 (052 253 6203) にてお問い合わせください。

レポート送付先

お名前：
貴社名：
部署：
郵便番号：
住所：
電話番号：
E-mail：
ご署名：

※2008年以前のSBDレポートにつきましては、既に日本語版のご用意があるものもございます。そうでないものにつきましては、ご要望に合わせてご対応させて頂いておりますので、お問い合わせください。

ご請求先住所 (左記と異なる場合)

お名前：
貴社名：
部署：
郵便番号：
住所：

ご購入形態(※)

英語版レポート

- マルチユーザー** (製本版+PDF) - ¥355,000 (税別)
- シングルユーザー** (製本版のみ) - ¥269,000 (税別)

日本語翻訳付レポート

- マルチユーザー** (製本版+PDF) - ¥405,000 (税別)
- シングルユーザー** (製本版のみ) - ¥319,000 (税別)

レポートのご用命はこちらへ **FAX: 052 253 6204**